

講義名	野外教育活動演習			授業形態	
担当教員	高橋 宏斗／与那覇 秀勲	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	

主題と概要
新型コロナウイルス感染症拡大に伴いレジャー活動が制限される中、登山やキャンプといった野外活動は密集を避けながら自然を満喫できる点から注目されている。しかし、自然環境を舞台にする野外活動は危険と隣り合わせであり、常にリスクを認識しながら活動を行う必要がある。そこで本演習では自然環境での野外活動体験を通して、リスクマネジメントや課題解決能力、グループワーク力を身につけることを目指す。具体的に、本演習では六甲山全山縦走コース全56km（宝塚駅から須磨浦公園駅まで）を2日間（一泊二日）で踏破する。

到達目標
①自然環境での生活を通じて、自ら判断し行動することができる。 ②グループでの活動を通して仲間と協力して助け合い、手助けできる。

提出課題
実習レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
活動の内容に応じて個人またはグループに対して講評を行います。

評価の基準
取組状況・・・8 0 % 提出課題・・・2 0 % 注1) いかなる理由があっても六甲山全山縦走コース全56kmを踏破しないと成績評価の対象となりません。 注2) 部活動を理由とした登山実習への不参加は考慮しないので十分に注意してください。

履修にあたっての注意・助言他
・宿泊費（夕食費込み）と食料費（地図）購入費あわせて5,500円程度が必要です。 ・教員費（地図）については第3週目までに各自で必ず購入してください。 ・登山実習に必要なお金は個人負担となります。主に交通費（2,000円程度）や当日の朝食や昼食、行動食・飲料の購入（2,000円程度）の他、安全に登山を実施するための装備（雨具、登山靴など）を購入する費用がかかります。 ・登山実習で必要な物については授業内で説明します。

教科書				
.山と高原地図 六甲・摩耶 須磨アルプス.	昭文社編集部	昭文社	1320	9784398771513

参考図書				
.なし.				

その他
授業に関連する資料については担当教員が印刷して配布する。

授業計画
01 イントロダクション 予習内容：シラバスを見て、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分） 02 登山・六甲山の歴史 予習内容：第1回授業で提示する内容についてまとめること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分） 03 登山のリスクと準備・対応 予習内容：前回授業で提示した内容についてまとめること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分） 04 自然保護と自然の楽しみ方 予習内容：前回授業で提示した内容についてまとめること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分） 05 グループワーク①：登山計画の作成 予習内容：前回授業で提示した内容についてまとめること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分） 06 グループワーク②：登山計画の提出と装備の確認 予習内容：グループで話し合いを深め、計画をまとめておくこと（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分） 07～14 登山実習（10月11日[土]～12日[日]もしくは25日[土]～26日[日]を予定） 予習内容：これまでの講義を整理し、体調及び装備等を整え、登山に備えること（960分） 復習内容：体を休め、体験を内省し、活動の意味を整理すること（960分） 15 登山実習ふりかえり 予習内容：第7回～第14回にあたる実習について、ふりかえりを作成すること（240分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク
☐ キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
<スポーツ健康コース> ・地域貢献活動などのフィールドワークを通して身につけた、幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力やリーダーシップ力、マネジメント力を発揮することができる。 ・到達目標①、②を達成することで、他者とのコミュニケーション能力向上に繋がり、リーダーシップ力、マネジメント力を発揮できるようになる。 ・健康保持・増進やスポーツパフォーマンス向上などのための理論や指導法を学び、それを通して身につけたプレゼンテーション能力に基づく効果的な指導ができる。 ・グループ活動の多い科目内容であるため、到達目標①、②の達成に伴い、個人の意見を他者へ伝えるプレゼンテーション能力向上に貢献できる。 <スポーツマネジメントコース> ・「する」「ある」「させる」の観点で、スポーツをキーワードとする関連事業分野、業種において企画運営に携わることができる。 ・到達目標①、②の達成により、野外活動運営を通して、企画運営能力を養うことができる。 ・健康増進やスポーツ産業などの多様な社会的課題と今後の課題と対応策について、分析、評価、企画を行うことができる。 ・到達目標①、②の達成は学料的ディプロ・マボリシーに直接的に関与しないが、野外活動を通して、様々な現状における課題とその対応策などについて分析評価できる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
なし

実務経験の有無及び活用
なし

備考
・授業の内容や進め方は社会情勢や受講生の理解度に応じて変更する場合がある。 ・欠席率については履修事項に記載の通り対応する。必要な書類が揃っていない場合は受け取ることができないので事前によく確認してから提出すること。 ・講義期間中に受講に関わるトラブルが発生した場合は担当教員までメールにて連絡すること。その際、学籍番号・氏名・受講している講義名・トラブルの詳細を必ず本文中に記載して連絡すること。記載がない場合は回答しないことがある。